市政レポート
2026年秋号
KOMEITO
公明党

刈谷市議会議員

# 谷口むつお

発行者：谷口睦生　公明党刈谷市議会議員
住　所：刈谷市沖野町1-1-14 グローリアス東刈谷第5-402号
連絡先：090-9903-3153　FAX 0566-66-6337
E-mail：mtgtaniguchi@gmail.com

谷口むつお　検索

## 9月定例会の補正予算で物価高騰対策が決定！

市民や事業者を応援する刈谷市独自の物価高騰対策が可決されました。

### ◆ 商業者応援デジタルクーポン事業

市LINE公式アカウント登録者向けにデジタルクーポンを発行。

■実施期間　令和9年1月27日~2月19日(24日間)

■クーポン内容

1,000円以上の支払いにつき300円の割引クーポン20枚
(飲食店クーポン10枚、小売･サービス店クーポン10枚)
※1店舗につき5枚まで利用可能

### ◆ 修学旅行費補助事業

保護者の経済的負担の軽減のため、修学旅行費用を補助。

■対象者・ 市内の小中学校及び特別支援学校に通う児童生徒
・ 市内在住で市外の特別支援学校に通う児童生徒

■1人当たりの補助上限額

・ 小学校: 24,000円　・ 中学校: 48,000円

## 「持続可能な地域公共交通の確保に向けた要望書」を提出

9月14日、公明党刈谷市議団は、稲垣武刈谷市長に「持続可能な地域公共交通の確保に向けた要望書」を提出し、高齢者や障害者など、移動に困難を抱える方々の移動支援の充実などを求めました。特に、バスでは対応が難しいドア・ツー・ドアでの移動を可能とするタクシーは、日常生活を支える重要な交通手段であり、市民生活に欠かせない存在です。

市民の皆様から寄せられた声も踏まえ、今後増加が見込まれる免許返納者へのタクシーチケット配布や、高齢者向けタクシー助成制度の条件緩和など、利用促進につながる施策を提案。
また、燃料費・保険料・車両維持費の高騰などで負担が増しているタクシー事業者の状況に対し、今後も市民の皆様が安心してタクシーを利用できるための支援についても要望しました。

# ９月定例会一般質問より　災害時の応援職員の受入と迅速な被災者支援強化を！

熊本地震では住家被害が6万棟を超え、全半壊だけでも約5,000棟に達しています。大規模災害時には、住宅再建に必要な罹災証明書の発行に加え、避難所運営や物資供給、被害調査など膨大な業務が発生し、職員自身の被災も想定されます。こうした状況に備え、応援職員を迅速に受け入れ住民支援へ配置できる受援体制を平時から整備し、必要人数や業務内容を事前に整理しておくことが重要です。今回、刈谷市の準備状況について確認しました。

**質問**　**大規模災害時に急増する業務に対応する応援職員の受援計画について、策定時期、直近の見直し状況、対象業務は?**

**答弁**　受援計画は令和２ 年３ 月に策定。現在、能登半島地震の教訓や内閣府手引き改訂を踏まえ見直し中。対象業務は人命救助、避難所運営、家屋被害認定、罹災証明、物資物流、インフラ復旧など多岐にわたる。

**質問**　**受援計画は、各部局が参加し全庁的に策定されているか?**

**答弁**　令和６年度から災害対策本部の２１班で構成する検討部会を設置し、受援計画の必要性や課題を共有しながら、計画の実効性向上に向け協議している。

**質問**　**応援に必要な「業務内容・必要人数・期間」の把握は?**

**答弁**　各班が受援シートを作成し、業務毎に災害規模に応じた必要人数や期間を算出。さらに、活動拠点の準備や資機材の確保、依頼事項を整理した上で応援要請を行う。

## 小さな声がカタチになりました!

### ◀ 防犯灯の設置

南沖野町の市道にて、「夜間、大変暗く歩くのが不安」とのお声を頂きました。防犯灯を新たに設置することができ、夜間安心して歩けるようになりました。

### ◀ 横断歩道の再塗装

朝日小学校・朝日中学校の児童・生徒が多く利用する朝日小学校東交差点の横断歩道において、「路面標示がほとんど消えている」とのお声を頂きました。市へ要望し、新たに引き直して頂きました。

### 古い側溝蓋の交換 ▶

小垣江町北浦の住民の方から「側溝蓋が劣化して段差ができ小学生の児童が躓いて転倒する恐れがある」とのお声をいただきました。市に要望し、新しい側溝蓋に交換して頂きました。子どもたちが安心して通学できるようになりました。

### 用水路の除草 ▶

小垣江町西永井田の用水路を今まで草刈りをされていた方がご高齢となり「作業が困難となったため、草が繁茂して困っている」とのご相談を受けました。市へ対応を依頼し、除草を実施していただきました。用水路がきれいになりました。